



主治医と連携した 保健指導への取組

桑名市役所 保健医療課



これまでの取組

平成28年度:業者委託による保健指導

29年度:直営での受診勧奨

30年度:直営での受診勧奨

+ 保健指導開始に向けた準備

令和元年度 :直営での受診勧奨+ **保健指導** ^{NEW}

保健医療課の組織体制(平成30年度~)

保健医療課

管理係

地域リハビリテーション係(理学療法士3・作業療法士1・言語聴覚士2・歯科衛生士1)

地域医療対策係

健康長寿増進係(保健師9・管理栄養士2・看護師1)

保険年金室

受診勧奨について

対象者

平成30年度の特定健診結果がHbA1c 6.5以上(または空腹時血糖126以上)かつ尿たんぱく1+以上だった人で、糖尿病による受診が認められない人

平成30年度

抽出された対象者に電話で受診勧奨。
電話だけでは、健診結果の意味や、受診の必要性をうまく伝えるのが難しいことを痛感。

平成31年1月の研修で、参考になりそうな受診勧奨通知の情報を入手

これだ!



令和元年度

受診勧奨通知を送付し、その通知を見たであろう頃に電話。

対象者数 5人
勧奨時点で受診済 2人
勧奨により受診 2人
未受診 1人 (昨年度も未受診)

あの紙、先生に見せたよ



【課題】

対象者の基準に尿たんぱくも含めているため、少数の重症例しか抽出されない

次年度は…

課題の解決に向けて、対象者の抽出基準を見直して実施予定

糖尿病が悪化してあなたの腎臓は、悲鳴をあげています!!

○ 糖尿病検査の結果は?

あなたの結果 mg/dl

<空腹時血糖> 空腹時の血糖値です。

100 以下	110 以上 125 以下	126 以上
異常なし	要注意	危険

○ 腎臓検査の結果は?

あなたの結果 ml/min/1.73 m²

<eGFR(イージー・エフ・アール)> 腎臓で時間あたりどれくらい血液をろ過しているかを表します。クレアチニン値、性別、年齢から計算されます。

90 以上	60 以上 90 未満	60 未満
異常なし	要注意	危険

<尿たんぱく> 尿の中に溢れ出したたんぱく質のことで、腎臓に異常があると(+)になります。糖尿病の人で(+)になった場合は、糖尿病性腎症の疑いがあります。

-	+	+以上
(異常なし)	(要注意)	(危険)
異常なし	要注意	危険

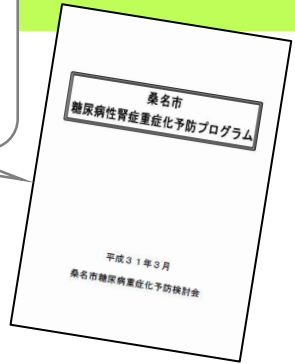
特定健診結果の糖尿病や腎臓検査の結果から、あなたは糖尿病性腎症(※)の疑いがあります。すぐにかかりつけ医を受診し、健診結果について相談しましょう。かかりつけ医がない場合は、特定健診を受けた医療機関、または市役所保健推進課にご相談ください。

※糖尿病性腎症とは、糖尿病の合併症の一つで、腎臓の血管が狭くなり、機能が低下します。悪化すると人工透析や腎臓移植が必要で、生活に大きな負担がかかります。

厚労省の手引きにも掲載されている、富山県氷見市の通知文書を、大いに参考にして作成

保健指導について

H31.3月に桑名市版プログラムを策定。4月に各医療機関に配布しました。



対象者

平成30年度の特定健診結果がHbA1c 6.5以上(または空腹時血糖126以上)かつ 尿たんぱく1+以上だった人で、糖尿病の治療中の人

実施方法

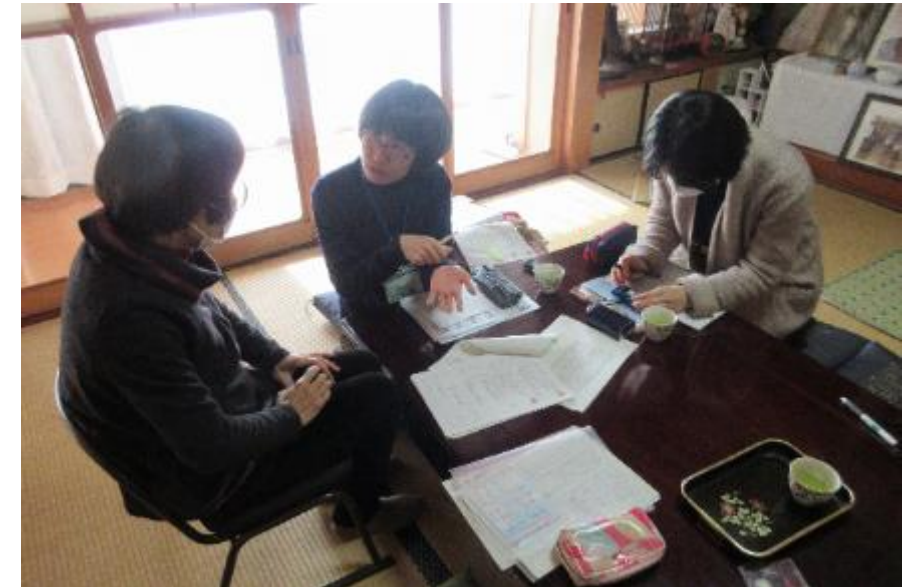
保健医療課の保健師・管理栄養士による保健指導

期間はおおむね6か月

初回・中間・最終は家庭訪問



すき焼きと共に食卓に出ていたもの
梅干し、漬物3種、つくだ煮2種

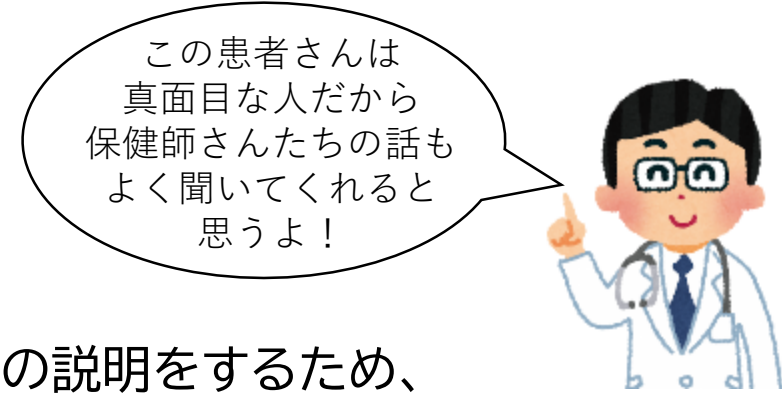


保健師と管理栄養士で訪問。保健師が本人から聞き取りしている間、管理栄養士は撮影してもらった食事の写真(デジカメ)をチェック中。

保健指導について

保健指導開始までの流れ

1. 事業担当者が、対象者の主治医を訪れ、保健指導の実施の可否を確認
2. 本人に保健指導の参加勧奨TEL
3. 本人に参加申込書兼同意書を記入してもらう
4. 保健指導担当者が主治医を訪れ、指示書を記入してもらう



ポイント1

あらかじめ主治医に事業の説明をするため、保健指導を行いやすい人を一緒に考えてもらえる

ポイント2

主治医から本人に声をかけてもらえる場合がほとんどなので、対象者の受け入れが良い

主治医から声をかけてもらった9人中、7人が保健指導を希望された

糖尿病性腎症の重症化予防に
チャレンジしませんか？

本市では、糖尿病の合併症を受けている方で、一定の条件に該当する方を対象に、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に沿った保健指導を実施しています。この機会に、一緒に取り組んでみませんか。

主治医の先生と連携し、あなたの治療方針に沿った保健指導を行います。

市の保健師や管理栄養士が、あなたの取組みをサポート！

腎臓を守る生活を一緒に考えましょう。

- 無料 でプログラムに参加できます！
- 個別相談形式のプログラムです。実施場所や時間は、ご自宅や市役所など、ご相談に応じます。
- 参加ご希望の方は、主治医の先生にお伝えいただくか、直接お問合せ先の保健師へご連絡ください。（保健師連絡からの電話させていただきます）

お問い合わせ先
島名市役所 健康推進課（市役所2階）
TEL: 24-1182 FAX: 24-3322

主治医から本人に渡してもらうチラシ

保健指導について(課題と取組)

対象者数とマンパワーのアンバランス

対象を抽出すると、約90人。

75歳到達者、市外医療機関フォロー者、
1型DM等を除くと64人

対象者が
多すぎる...



重症化予防検討会で
先生方に相談



尿たんぱくとeGFRで
対象者を絞ることに

eGFR90以上、30未満は除外、
60以上90未満は
尿たんぱく2+以上のみ対象



R1.10.10 重症化予防検討会

指導ができるのか不安...

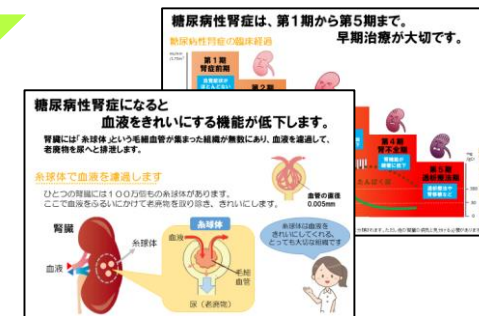
治療中の人の指導なんて
したことないけど
大丈夫かなあ



保健指導
開始前

糖尿病について
色々聞かれたら
どうしよう...

指導開始前に
カンファレンス



みんなで使える指導媒体の作成

現在

その場でわからなくても
「確認して返事します」で
大丈夫でした。

本人の話を聞いて
一緒に考えるのは、
他の保健指導と同じですね！



「減塩」や「減量」など、
その人の取組に絞ったの
指導なので、
普段の栄養相談と
変わりません。

保健師として感じたこと

事業を通して

主治医との連携は必須
保健指導の知識・技術は、少しずつ積み重ねれば良い
重症化予防検討会の重要性

個別ケースを通じて

家庭訪問で、その人の生活が見えることの興味深さ
行動変容ができて、6か月でのデータ改善は難しい
対象者との合意形成の大切さ

指導終了後のフォローを
どうしていくかが課題



© dak

その人らしく暮らし続けられることを目指して
取組を進めていきます。